※令和3年度以前入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　地理歴史　　科

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2　単位	年次	3　年次
使用教科書	明解　世界史A（帝国書院）						
副教材等	五訂版　グローバルワイド　最新世界史図表（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は教科書と副教材のほか、ワークシートを用いて講義形式の授業を行います。また、ペアワークやグループワークを通して、各時代の歴史の疑問に対して自ら正解を考える活動を行いますので積極的に取り組みましょう。
・中学校で学んだ日本の歴史との関連や、世界の国々の地理的状況も考えながら、授業に入る前に教科書を事前に読むなどの予習を行いましょう。
・ワークシートやノート、課題の提出期限を必ず守りましょう。

2　学習の到達目標

・近現代史を中心とする世界の歴史について理解する。
・諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、現代の諸課題を歴史的観点から考察できる。
・歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高められているか、歴史上の諸課題や疑問について主体的に考え、国際社会の一員として問題意識を持って意欲的に追及しているか。	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見いだし、世界的視野に立って多面的、多角的に課題を考察できているか。またその諸課題について、地理的条件や、日本の歴史と関連づけながら公正に判断し、適切に表現できるか。	近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、その中から必要な情報を選択し、資料を活用して歴史的事象を学習できているか。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な知識を身につけ、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているか。
評価方法	・授業への取り組み ・提出物 ・発表	・定期考査 ・ワークシート ・発表	・定期考査 ・ワークシート ・発表	・定期考査 ・ワークシート ・発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	前近代の諸文明	1.人類の始まり 2.東アジアの文明 3.南アジアの文明 4.東南アジアの文明 5.西アジア・ 北アフリカの文明 6.ヨーロッパの文明 7. 南北アメリカの文明 8. ユーラシアの交流圏	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	a:授業内容を理解しようという姿勢で臨み、課題に対して協働して解決できる。 b:学習内容を比較しながら、文明の共通点・相違点を見出すことができる。 c:課題に対し、教科書・資料集に基づいた適切な解答ができる。 d:出来事の因果関係を他者に説明することができる。	・ワークシートへの取り組み ・ペアとの取組・発表 ・定期テスト ・課題提出物
1	一体化に向かう世界	1. 繁栄するアジア 2. 大航海時代と新たな国家の形成	○ ○	○	○	○	a:授業内容を理解しようという姿勢で臨み、課題に対して協働して解決できる。 b:現代の国家のあり方がどう決まり、結果どのような国際関係が発生したのかについて考えることができる。 c:課題に対し、教科書・資料集に基づいた適切な解答ができる。 d:出来事の因果関係を他者に説明することができる。	・ワークシートへの取り組み ・ペアとの取組・発表 ・定期テスト ・課題提出物
2	欧米の工業化とアジア諸国の動揺	1.ヨーロッパとアメリカの諸革命 2.自由主義・ナショナリズムの進展 3. アジア諸国の動揺 4.東アジアの大変動	○ ○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a:授業内容を理解しようという姿勢で臨み、課題に対して協働して解決できる。 b:現代の国家のあり方がどう決まり、結果どのような国際関係が発生したのかについて考えることができる。 c:課題に対し、教科書・資料集に基づいた適切な解答ができる。 d:出来事の因果関係を他者に説明することができる。	・ワークシートへの取り組み ・ペアとの取組・発表 ・定期テスト ・課題提出物
2	現代世界の芽生えと世界大戦	1.現在につながる社会の形成 2.第一次世界大戦が もたらしたもの 3. 民族自決をもとめて 4.経済危機から第二次世界大戦へ	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:授業内容を理解しようという姿勢で臨み、課題に対して協働して解決できる。 b:なぜ「世界大戦」が二度も起きてしまったのかについて異なる地域、様々な立場から考察することができる。 c:課題に対し、教科書・資料集に基づいた適切な解答ができる。 d:出来事の因果関係を他者に説明することができる。	・ワークシートへの取り組み ・ペアとの取組・発表 ・定期テスト ・課題提出物
3	冷戦から地球社会へ	1.冷たい戦争の時代 2.冷戦終結への道のり 3. 地球社会への歩み 4. 持続可能な社会を目指して	○ ○ ○	○	○	○ ○ ○	a:授業内容を理解しようという姿勢で臨み、課題に対して協働して解決できる。 b:今までの学習内容を踏まえ、今後の世界のあり方を模索することができる。 c:課題に対し、教科書・資料集に基づいた適切な解答ができる。 d:出来事の因果関係を他者に説明することができる。	・ワークシートへの取り組み ・ペアとの取組・発表 ・定期テスト ・課題提出物

※ 表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○をつけている。